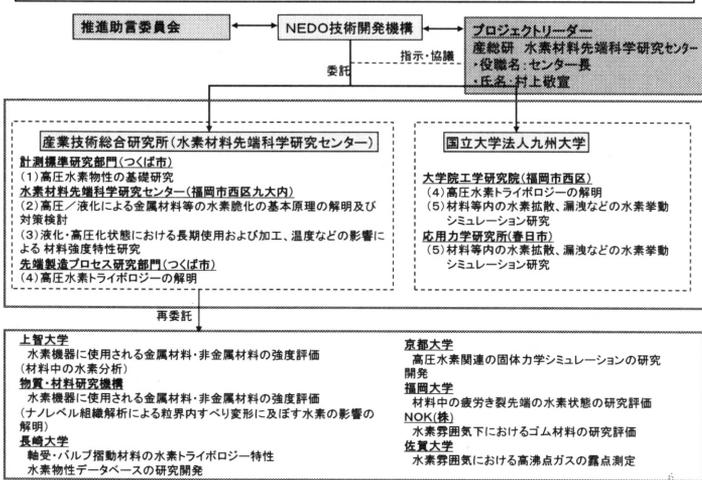


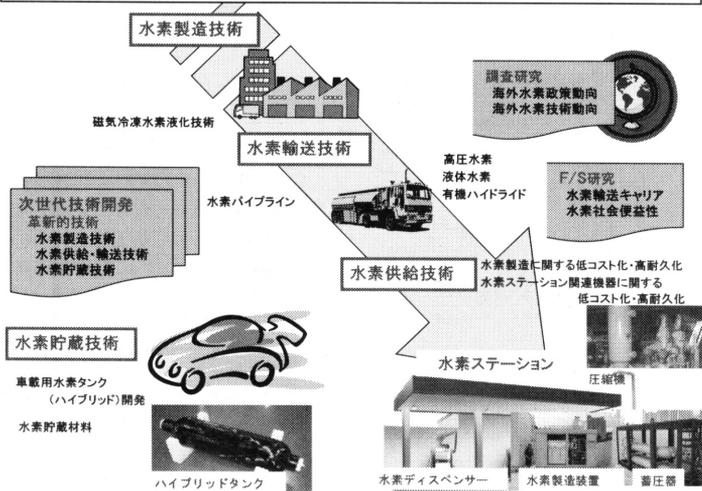
水素先端科学基礎研究の研究体制



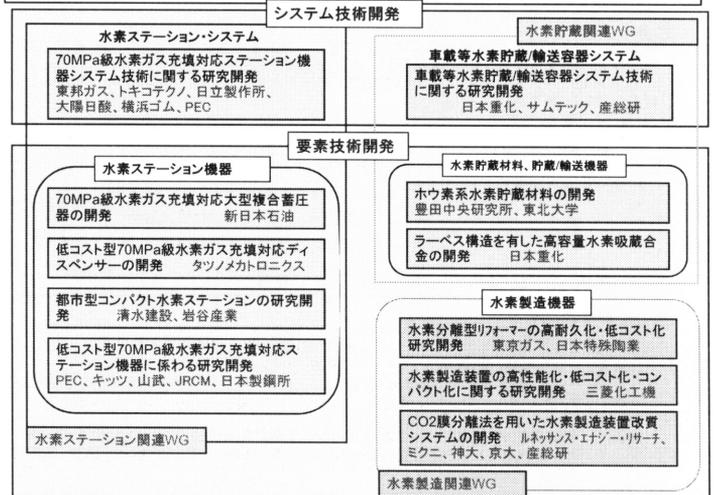
水素製造・輸送・貯蔵システム等技術開発の概要

- 目的**
 水素供給インフラ市場立上げに向け、水素製造・輸送・貯蔵・充填に関する低コストかつ耐久性に優れたシステム技術開発、要素機器技術開発、次世代技術開発及びフィジビリティスタディ等を実施し、水素エネルギーの導入・普及に必要な一連の機器及びシステムに関する技術を確立することを目的とする。
- 目標**
 中間目標(平成22年度末): 水素エネルギーの導入・普及に必要な低コスト機器及びシステムを試作開発
 最終目標(平成24年度末): 試作開発結果を基に耐久性検証等を実施
- 研究開発の内容**
 (1) システム技術開発
 水素ステーション機器や車載等水素貯蔵/輸送容器の低コスト化・コンパクト化に繋がるトータルシステム技術を開発、及び耐久性等の検証
 (2) 要素技術開発
 水素製造・輸送・貯蔵・充填機器の高性能化・軽量化・低コスト化及び長寿命化のための要素技術を開発、検証
 (3) 次世代技術開発:(革新的な将来技術等)
 水素エネルギーの導入・普及に関する新規の概念に基づく革新的な技術の開発、水素キャリアに応じたF/S等の実施
- 予算**
 平成20年度 17.5億円、平成21年度 13.6億円

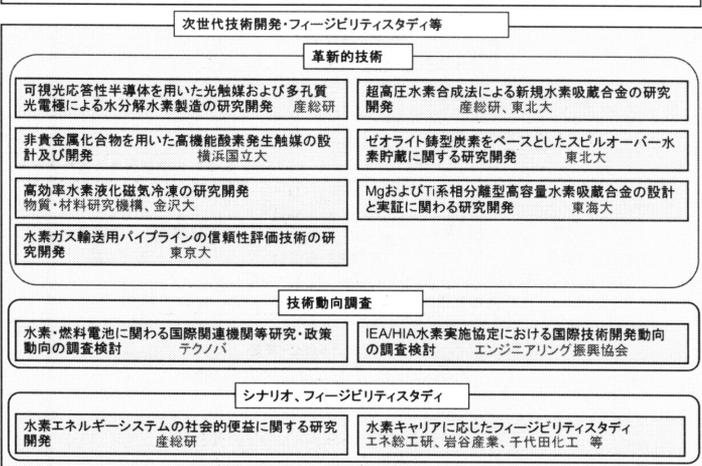
水素製造・輸送・貯蔵システム等技術開発の開発対象



水素製造・輸送・貯蔵システム等技術開発の各プロジェクト(1/2)



水素製造・輸送・貯蔵システム等技術開発の各プロジェクト(2/2)



水素社会構築共通基盤整備事業の概要

- 目的**
 1. 燃料電池の導入・普及のために、規制見直しに資する安全確認データの取得
 2. 国際標準の提案
 3. 製品性能を単一の物差しで評価する試験・評価手法の確立
- 目標**
 中間目標(平成19年度末): 規制再点検及び国際標準化に必要なデータの取得
 最終目標(平成21年度末): 取得データに基づく国際標準案の作成
- 研究開発の内容**
 1. 燃料電池自動車に係る規制再点検及び標準化のための研究開発
 2. 定置用燃料電池システムに係る規制再点検及び標準化のための研究開発
 3. 水素インフラに係る規制再点検及び標準化のための研究開発
- 予算**
 平成17年度 35.8億円
 平成18年度 35.6億円
 平成19年度 25.5億円
 平成20年度 14.0億円
 平成21年度 9.0億円

